

即時地震動予測手法の開発

地震津波火山ネットワークセンター 功刀 卓

Point

- 観測データから毎秒実況を行う強震動即時補間システムを開発
- 格子状の実況データから即時地震動予測を行う手法を開発
- 海域地震の予測迅速化のため海域データ活用手法を開発

研究の領域

予防	応急対応	復旧・復興
予測・情報力		
防災基礎力		

観測から実況

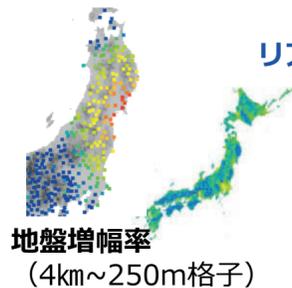
「揺れ」から「揺れ」の予測システムの実現のため、不均一な強震観測データから即時予測に必要な時空間格子での強震動（震度等）をリアルタイム（1秒毎）に得るための強震動即時補間システムを開発しました。震度値を即時に得るために必要な高性能強震計や専用の演算方法も開発しています。

強震計（全国約1,700台）

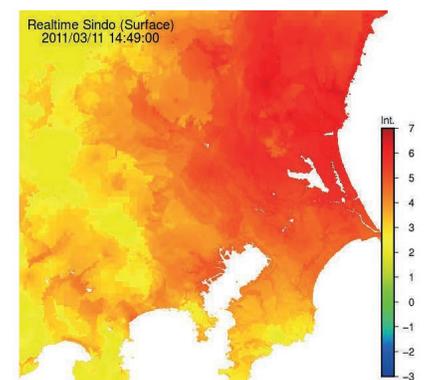
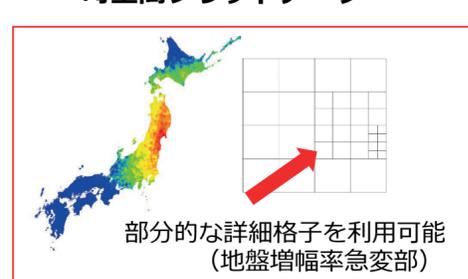


震度の即時演算を実行
特許第4229337号
特許第5946067号

強震観測データ



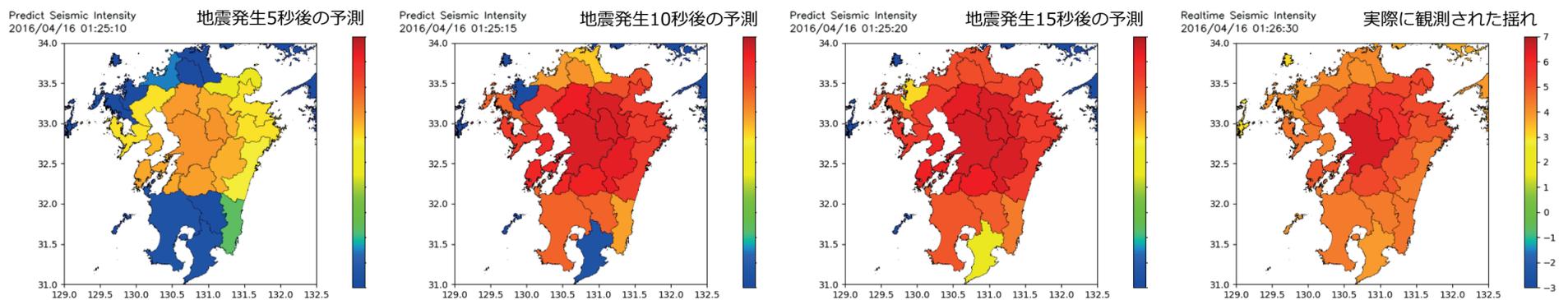
時空間グリッドデータ



4km~250m混在格子（約27万格子）

実況から予測

強い揺れが観測された周囲の領域には、いずれは、強い揺れが到来する、という事実に基づき、観測された強震動データのみを用いて、迅速かつ確実な地震動予測を行う手法を開発しました。



海域データの活用

海域で発生した地震に対する地震動予測を迅速化するため、海域の地震観測データ（S-net等）を活用して地震動予測を行う手法を開発しました。

